

博士論文の審査結果の要旨

専攻	保健医療学専攻	分野	理学療法学分野
学籍番号	15S3008	院生氏名	遠藤 勇志
通学キャンパス	東京青山キャンパス		
論文題目	介護老人保健施設入所高齢者の転倒・転落の特徴		
審査結果(枠で囲む)	合格	不合格	
<p><審査結果の要旨></p> <p>目的は介護老人保健施設で生じた転倒・転落の事故を後方視的に実態把握することである。介護老人保健施設で転倒・転落した189事例を対象とした。転倒・転落の状況を調査し、軽度要介護者と重度要介護転倒者との比較を実施した。その結果、転倒・転落のリスクが高いものは、要介護3~4のもの、BPSDの陽性症状を呈しているもの、内部循環障害のもの、めまいがあるもの、体幹の筋力低下があるもの、関節拘縮があるもの、高次脳機能障害があるものが転倒のリスクが高くなる傾向にある。また、Barthel Indexでは点数が自立ないし寝たきりでないものが該当した。重度要介護者の転倒・転落が多いことが示唆され、転倒対策の一助になりうる。</p> <p>本研究の新規性は、HDS-Rの点数と転倒の関係性はなくBPSDと関係がある事が示唆された。転倒防止には、身体機能に関しては、筋力強化の継続的なリハビリテーションが重要である。更に、認知機能に関しては、BPSDを減少させることである。</p> <p>審査会は1回開催し、初回審査で、副論文の取り扱い、統計の問題、転倒と転落の因子を分けること、高次脳機能障害の関係などについて論文の修正を求め、メールにて確認したところ適切に修正された。</p> <p>また、口頭試問においても適切に対応した。</p> <p>以上の結果から、審査会の審査員全員は本論文が著者に博士(保健医療学)の学位を授与するに十分な価値があるものと認めた。</p>			
論文審査担当者	<p>主 査 丸山 仁司</p> <p>副 査 金子 純一朗</p> <p>副 査 阿部 晶子</p>		